一般質問詳報

山岡光広・岡田重美・西山実議員が一般質問

発言順

山岡光広議員

◆急増する認知症対策、◆市職員の異常な時間外労働の是正、◆手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例生かして、◆駐車場の「車止め」ブロック、◆甲賀市子育てNO1へ施策の拡充

山岡　昨年12月議会と3月議会で取り上げた市職員の異常な時間外労働を是正する指導は…。

総務部長　午後10時を超える時間外は厳禁、やむを得ず超える場合であっても午前零時までに退庁することを徹底。またサービス残業はしないことを指示した。月80時間以上の時間外勤務がある場合は、部内ですみやかに人事異動を検討する。

山岡　「午前零時を超えて退庁」の実態はその後どうか。

総務部長　3月20課、4月17課、5月5課に減少。

山岡　認知症高齢者は、65歳以上高齢者の5人に一人と推計されている。実態を掌握し、早期発見・予防に力を入れるために、専門医の拡充、相談窓口の開設、徘徊高齢者支援などを充実し、全庁あげて取り組むために「条例」制定を。

健康福祉部長　認知症又は予備軍は五千二百人。地域包括支援センターで相談、認知症サポート医・認知症相談医による連携、徘徊高齢者家族支援サービスを実施している。

山岡　公共施設駐車場の「車止め」ブロックにけつまずいて骨折した、という。安全対策を講じるべき。

総務部長　点検して安全対策を検討。

岡田重美議員

◆新教育長に教育課題について問う、◆学校給食費無償化に向けて、◆投票率の向上に向けて、◆土山地域のコミバス、コミタクを使いやすく、◆青土ダム駐車場トイレ改修とエコーバレイ施設整備

岡田　令和3年の不登校は小学校で73人、中学校で135人と過去最多。子どもを支える公的支援の拡充が求められる。

教育長　魅力ある学校づくり、子どもの居場所や人的資源の充実等図っていく。

岡田　学校再編計画に対し、地域としては再編せずに存続をという意向である。教育長の受け止めを伺う。

教育長　地域の思いを大切にしつつ、時代の流れに即した教育環境の実現に向け取り組みを進める。

岡田　県内で給食費無償化の実施自治体が増えている。教育は無償の観点からも市も実施に踏みきるべき。

市長　恒久的な財源確保が課題。国による自治体への財政措置を期待する。

岡田　投票率低下の中、投票所削減は投票率向上に逆行するものでは。

選管事務局長　災害時の職員体制、立会人選任の課題もあり、審議会において投票区見直しを検討いただいている。

岡田　土山のコミタクについて、大野までエリアを拡大できないか。

建設部長　移動手段維持という点から、今後検討していく。

岡田　青土ダム駐車場トイレ水洗化を。

建設部長　水量の問題から対応困難とのことだが、引き続き県へ要望していく。

西山　実　議員

◆広島平和記念式典参加事業の予算の復活を、◆新型コロナウイルスの5類移行後の対策を、◆みなくち診療所の指定管理について、◆水口城「御成橋」の修復見通しについて

西山　毎年8月6日広島で行われる平和記念式典に子どもたちが参加する「広島平和記念式典参加事業」は、甲賀市にとって誇るべき事業であり、今年度予算から削られたことは非常に残念。今この時に、事業そのものを削るという市の姿勢が問題。

市長　平和教育にとって大変意義ある活動だけに、熱中症や大混雑の中での安全を考えた中で、子どもたちの育ちや学びの機会をしっかりと取り戻せるよう、予算編成にあたりたい。

西山　新型コロナウイルスの5類移行後も、第9波に備えて体制の整備を。

健康福祉部長　5類移行後も、医療提供体制の整備や患者の方への対応など感染症対策の基本は県で適切に実施される。

西山　指定管理が募集されている「みなくち診療所」について、地域住民から平日診療や整形の継続を望む声が多い。

健康福祉部長　指定管理はみなくち診療所を存続させるための手段。貴生川地域には開業医があり、みなくち診療所は日曜診療など不採算部門を中心に担う。

西山　水口城資料館に通じる木橋「御成橋」の修復の見通しは。

教育部長　7月中には設計業務を完了させ、補正予算を組んで令和6年度中に橋の修復を完了させたい。

山岡　今議会での特徴は…。

西山　広島平和記念式典への小学生派遣事業の復活を求めて三名の議員が質問した。それだけ誇るべき平和事業なんです。必ず復活させたいです。

岡田　新日本婦人の会が「小中学校の女子用トイレに生理用品の設置を求める」請願を提出され、私も紹介議員として審議に加わりました。残念ながら本会議では日本共産党と無会派の議員の5名が賛成で不採択となりました。このなかで公明党の態度には驚きました。

山岡　本当ですね。

岡田　私も一般質問で取りあげたことがありますが、公明党の堀議員も設置を求める質問をされていた。党の山口代表も生理用品の無償配布の取り組みを強調されているのに、本請願に反対された。理由は「今回の請願を通すことは無理を通すことになる。時期尚早」。理解に苦しむ反対討論でした。

山岡　そういえば、堀議員は、中学校卒業まで医療費無料化を求める請願の時も、一般質問で自ら要求しているのに、請願には反対した。素直にいいことはいい、と判断できないのはなぜですかね。

西山　同性婚を認める法改正を求める意見書採決でも、公明党の田中議員は一般質問で自ら求めているのに、意見書には反対討論まで。これも「時期尚早」を理由にしていた。

岡田　一貫性がないことが非常に残念ですね。日本共産党は議案も請願も意見書も、中身で賛否の判断を決めている。自民党の提案であっても公明党の提案であっても…。